

美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート(令和6年度)

事業名称					実施主体		
美原区の“みんな”で魅力発信推進事業					美原区役所企画総務課		
事業目的		事業効果		活動指標	R4	R5	R6
区民や地域の事業者などの多様な主体と連携することで、区の魅力を区民目線でしっかりと発掘・再認識し、美原区の魅力を広く発信する。		黒姫山古墳周辺で農作業体験イベントを実施することで、区の特色である「農業」と「歴史」を身近に感じる機会を市民に提供することができる。また、市民協働で古代米の栽培・特産品開発等に取り組むことで、区民自身による区の魅力の発掘・再認識に貢献することができる。		古代米プロジェクト 協力事業者数	35	37	35
				イベント(田植え体験、稲刈り体験)参加者数	158 (田植え＋稲刈り)	田植え121人 稲刈り128人 計249人	田植え99人 稲刈り90人 計189人
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	市民協働による農作業体験イベントや特産品開発などを通じて、区の特色である「農業」と「歴史」を活かした魅力ある地域の活性化への取組を推進する本事業は、行政が実施すべき事業である。	◎	古代米プロジェクトは、美原区内で古代米を生産・販売している地元農家の方たちの協力なくしては実施できない。また、地元農家の方たちと協働で、農作物を消費者に直接販売する美原朝市を開催している。	◎	区民が育てた「美原の古代米」は、テレビ番組や新聞で取り上げられるなど、区内外から注目されている。また、区民が育てた古代米や古代米を使った加工品を特産品として広くPRすることで、農業や歴史など美原区の魅力を発信できる。	○	農作業体験イベントには市内外から189人が参加しており、美原区の魅力をPRすることができている。また、古代米を栽培することは農地の有効活用につながるだけでなく、障害者支援施設に商品化作業をしてもらうことで、就労支援にも貢献できるなど、多方面に好影響を与えている。
⑤自立発展性		総合評価					
○	みはら農業塾の修了者が「美原の古代米プロダクト」のメンバーに加わるなど、後継者不足の課題改善にも取り組んでいる。今後、さらに活動の輪が大きくなれば、農業の活性化や自立発展する見込みがある。	◎	今年度は古代米を使いたいなり寿司やスパークリング日本酒など新たな特産品も開発された。また、農作業体験イベントでは、田植えイベント、稲刈りイベントを行い、どちらも募集の4倍以上の応募があり、非常に反響があった。稲刈りイベントでは、世界遺産課と連携し、古墳ガイドツアーを同時開催することで、より区の魅力の発信に取り組んだ。みはら区民まつりでも「美原の古代米」を使用した特産品等の販売等を通して「美原の古代米」PRを行い、市内外にも美原区の魅力を発信することができた。				
拡充 継続 見直し 廃止	・古代米関連イベントは、実施すれば受付開始すぐに定員に達するほど人気があり、一定の成果が挙げられる取組なので、引き続き実施する。 ・古代米プロジェクトは区民によって立ち上げられた任意団体が中心となって活動しているが、さらなる事業発展を図り自立させるために、行政として協力事業者の開拓や後継者育成を支援する。 ・美原区ホームページ、広報紙だけでなく、SNS等を通して情報発信を行い、多くの人に美原区の魅力をPRすることができるよう、今後も、内容に応じた効果的な手法で区の魅力発信に取り組む。						